

問9

生命保険においては、従来どおりの保険料の払込みが困難になった場合に、解約をせずに保険契約を継続する方法がある。これらの方法に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

1. 保険料の払込みを中止し、その時点の解約返戻金を保険料に充当して従前の契約より小さい保険金額の定期保険に変更するものを、「延長（定期）保険」という。
2. 保険料の払込みを中止し、その時点の解約返戻金を保険料に充当して従前の契約と同じ保険期間の養老保険または従前の契約と同じ種類の保険に変更するものを、「払済保険」という。
3. 保険料の払込猶予期間までに払い込まれなかった保険料に相当する金額を、その保険契約の解約返戻金の範囲内で、保険契約者に自動的に貸し付け、保険料の払込みに充当する制度を、「自動振替貸付」という。

×
短い保険期間の

↓
保険金額は変わらない!!

問10

会社員の浜田義人さんが契約している普通傷害保険の主な内容は、下記＜資料＞のとおりである。次の1～3のケース（該当者は浜田義人さんである）のうち、保険金の支払い対象となるケースはどれか。なお、1～3のケースはいずれも保険期間中に発生したものである。また、＜資料＞に記載のない事項については一切考慮しないこととする。

＜資料＞

保険種類	普通傷害保険
保険期間	1年間
保険契約者	浜田義人
被保険者	浜田義人
死亡・後遺障害保険金額	5,000万円
入院保険金日額	5,000円
通院保険金日額	3,000円

※特約は付帯されていない。

急激 かつ 偶然 な 外来 の 事故

↓

食中毒 NG
(急激ではない、腰痛等も×)

地震 NG

1. 通勤時に誤って駅の階段で足を踏み外して捻挫し、通院した。
2. レストランで食べた料理が原因で細菌性食中毒にかかり、入院した。
3. 地震で住宅が倒壊し足を骨折したため、通院した。

この2つを覚える

	食中毒	地震
普通傷害	×	×
国内旅行 "	○	×
海外 "	○	○